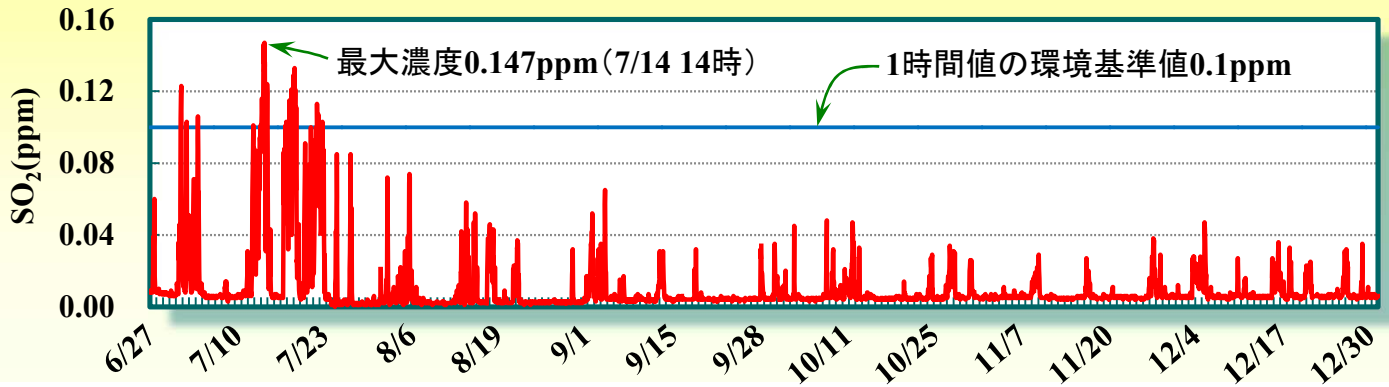


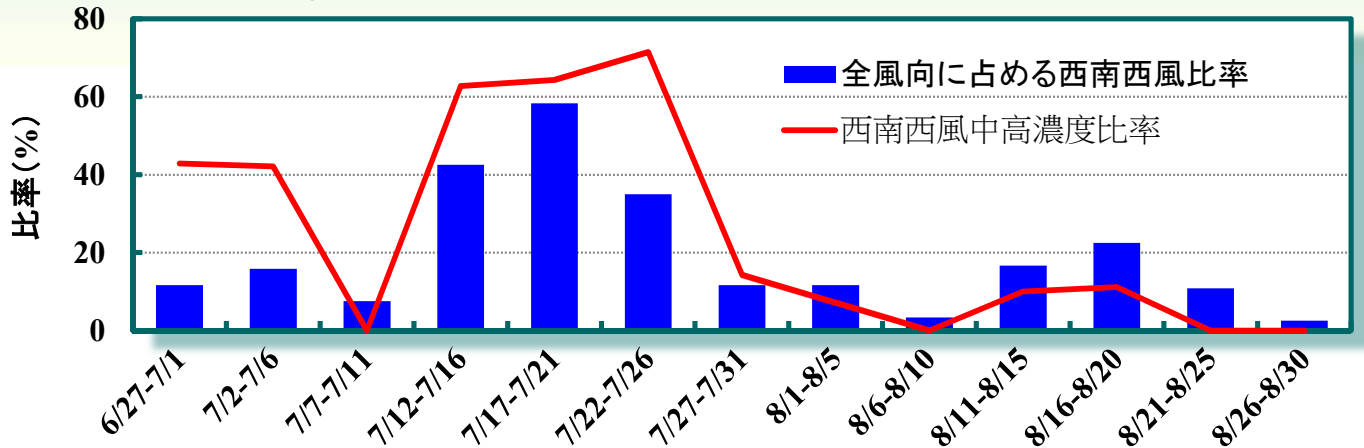
箱根町宮城野におけるSO₂濃度の状況

- ◆ 箱根山大涌谷では、2015年春に噴気活動が活発化しました。噴気には、大気汚染物質のSO₂(二酸化硫黄)が含まれているため、箱根町宮城野でその濃度の監視を始めました。
- ◆ 7月中旬に1時間値の環境基準値(0.1ppm)を超えた時間が延べ42時間ありましたが、その後は濃度は漸減し、現在に至るまで環境基準の超過は観測されていません。



風向きと濃度の関係

- ◆ 宮城野から見て大涌谷は西南西の方角にあります。そこで、西南西の風が吹いたときに高濃度(0.04ppm超)になった比率を調べました。
- ◆ 7月12日～26日の期間は西南西風が卓越し、高濃度になった割合も他の期間に比べて特に高く、この時期に火山ガスは広く拡散したと推定されました。



火山ガスの広がり

- ◆ SO₂放出量を推定したところ、ピークは7月17日の96トン/日で、浅間山の比較的静穏な時期の放出量と同程度でした。
- ◆ この時期に主な観光地で濃度がどこまで上がったかを拡散計算により推定しました。
- ◆ 最大値は早雲郷別荘地の2.0ppm(7/14)で、環境基準値0.1ppmを超えたエリアは広範囲に及んでいたことがわかりました。

